

Z会東大進学教室

難関国公立大・医学部英語／難関大英語 T

京大英語／難関大英語 T (京大)

一橋大英語／難関大英語 T (一橋大)



1章 総合問題1

問題

【1】

A.

全訳

原始社会では、子供に何を教えるべきかを定めるのは困難なことではないが、我々にとって、教育の内容と目標を明確に述べるのは、不可能なことではないまでも、困難なことである。なぜなら、我々がまだ自分たちの文化の目的を明確にしていないからである。

B.

全訳

ジェイムズがやってきた時、片腕に揺りかごを抱えて、片手にシャンペンを1本持っていた。彼は入口の所で立ち止まり、揺りかごを下ろし、ジェーンが中で寝ているのを見た。彼は頭の中で最適だと思い描いていた身のこなしを示すタイミングを逸して、どぎまぎしていたが、それにもかかわらず、彼女を見つめ、そこから目をそらさないように努力し、いつもとは違って、話す時に目をそらさず言った。

「君に贈り物を持ってきた。よかったら、君の健康を祈って、一杯やろう。」

【2】

ポイント

まず問題文の内容を段落ごとに整理する。＜第1段落＞私たちは各々自分の私的空間を持っているということ、その具体的な例。＜第2段落＞人間は自分の空間を侵されまいとする。＜第3段落＞ここは、反転である。場面によっては自分の空間が侵されることが不快であっても我慢する。やむを得ない場合として地下鉄やバスの例が挙げられている。How close …以下終わりまでは、設問にも挙げておいたが、＜まとめ＞になっている。段落は別にすべきところである。

解答

- (1) なわ張り (2) ① d ② a
(3) 混雑した地下鉄やバスで見ず知らずの人たちが自分の方へ群がり寄ってくること
(36字)
(4) 「全訳」の下線部③を参照。
(5) a what b of (6) How close (7) e, f

解説

- (1) 繰り返し用いられている表現。「ビニールのシャボン玉」で、自分の不可侵の領域のことである。
(2) ① … is maintained (than if it is *not* maintained)
② 次の You can imagine …以下から解答を得る。

- (3) 「そのような接近」で, In some situation — say riding on a crowded subway or bus — we are willing to sacrifice our personal territoriality and allow strangers to crowd up against us. (ℓ. 15) の箇所から解答を得る。
- (4) ◇ How close we allow others to get to us (主語になる名詞節)
○ allow [ə'laʊ] A to ... 「Aが…するのを許可する」
○ measure = standard
○ them は others を指す。
- (5) ◇ helps (to) establish
○ help (to) ... 「…するのに役立つ」
○ establish = set up on a firm or permanent basis
◇ the kind of communication
└───┬───┐
└───┬───┐ that can take place
○ the kind of ~ that ... 「…のような～」
○ take place = occur
- (6) Such proximity in other situations would be intolerable. までは第3段落として一気に続いてはいるが、それ以降は冒頭からの筆者の説明の結論である。
- (7) **b** in any situation ではない。**c** という主張はなされていない。**g** when we feel alone ではない。

全訳

私たちは1人ひとり「自分自身のもの」と思っている空間を持っている——気に入っている椅子、バスの中での席、食卓での席、さらにはレストランでの気に入っているテーブルまでもそうである。誰かが(大抵はそれとは知らずに)こういった「個人的な」空間の1つを占領すると、私たちはいらいらしたり慌てたりすることもある。人はゴールドイロックスと3匹の熊の話思い起こす。つまり熊たちの個人の空間を次々と侵すと意思の疎通がそれまでより困難になったのである。

私たち1人ひとりが持っている個人的な空間は「なわ張り」と呼ばれることがある。それはちょうどビニールのシャボン玉を頭上に浮かべて歩き回っているようなものである。この空間が侵害されると——誰かが「近寄りすぎ」てくると——私たちは緊張したりあるいは敵意を抱きさえするかもしれない。そしてこのために、起こりうる意志の疎通の中身が影響を受けることになる。大抵のアメリカ人や英国人は普通の会話にはある一定の距離を置く方が好きである。自分と相手との間にある一定の空間が維持される場合の方が心地よく感じる。ラテン系の人たちはより近い距離にいる方が好きなようだ。ラテン系の人アメリカ人と話をし、アメリカ人のほうは「適当な」距離を保とうとして、長い廊下をずっと先まで後退し続けている場面を思い浮かべることができるだろう。

ある場面では——例えば混雑している地下鉄とかバスに乗っている場面では——私たちは個人のなわ張りを甘んじて犠牲にし、見知らぬ人が自分の方に群がってきてもそのままにしておくものだ。私たちはそのことで不快に思うかもしれないが、どこかへ着くためには、一時的にビニールの「シャボン玉」が自分の周りで縮むのもそのまま許しておくのだ。他の場面であつたらそのように接近されたら耐えられないだろう。㊦どのくらいまで他の人が自分

に近づくのを許せるかは私たちのその人たちとの関係の一つの尺度となるし、またどんな意思の疎通が行われうるかを決定するのに役立つ。私たちは他の人と差し向かいしている時には、相手がその人自身のビニールのシャボン玉で取りまかれており、あまりにも密接して彼のなわ張りを侵すとその人との意思疎通をうまくはかることに悪影響を与える可能性があるかもしれないということは頭に入れておくのは賢明である。

注

- ℓ. 1 ◇ Each of us has spaces *we feel* are our “own”
= Each of us has spaces (which) *we feel* are our “own”
○ 関係詞連鎖節。which がなくてもよいことからわかるように、we feel は挿入されている訳ではない。we feel を , we feel, とすることは不可。
○ spaces = the dimensions of height, depth and width within which all things exist and move
◇ favorite = liked the best
※最上級の形 (most favorite) は非文。
- ℓ. 3 ◇ unknowingly < unknowing = not knowing or aware
◇ occupy = fill or take up (a space or time)
◇ annoy[ənoɪ] = make (someone) a little angry ; irritate
◇ upset[ʌpsét] = unhappy, disappointed or worried
※ emotion が不安定な状態にあれば、大抵の事は upset で表現可。
- ℓ. 4 ◇ remind A of B = cause A to think of B because of a resemblance 「AにBを思い出させる」
◇ Goldilocks[góuldilàks] and the Three Bears
○ Goldilocks : 英国の昔話 (Goldilocks and the Three Bears) で、3匹の熊の家を訪れ眠り込んでしまった少女の名。
◇ successive[səksésɪv] = following one another or following others
cf. succeed = come after and take the place of
- ℓ. 5 ◇ more difficult (than before)
- ℓ. 6 ◇ territoriality[tèrətò:riæləti] = territorial status ; persistent attachment to a specific territory ; the pattern of behavior associated with the defense of a territory
◇ It は The private space that each of us has is sometimes called “territoriality”. を指す。
◇ It is as if we *walked* (仮定法過去)
- ℓ. 7 ◇ plastic = a chemically produced material that can be molded into shape while soft and then set into a hard or slightly flexible form
※日本語の「プラスチック」では形の決まった堅いものをイメージすることが多いが、英語の plastic はビニール、ポリエチレン、フィルムのような柔らかいものも指す。
◇ bubble[bábl] = ① a very thin ball of liquid filled with air or gas ; a small round body of air or gas in a liquid (especially in boiling water, in soda water, in some kinds of wine), ② a hollow ball of soapy liquid that is floating in the air or standing on a surface ; a soap bubble

e.g. blow (soap) bubbles (シャボン玉を飛ばす)

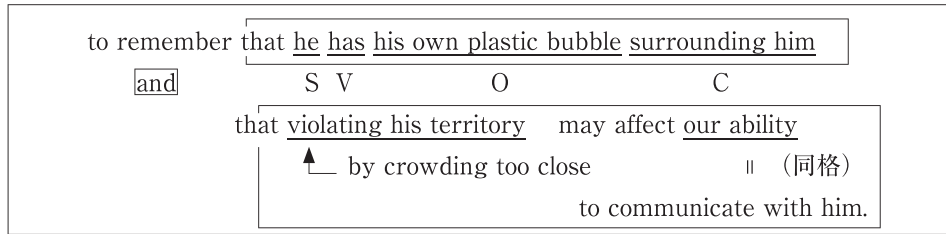
Ex. The soap bubble burst. (シャボン玉が割れた。)

- ◇ hover[há:və] = remain in or near one place in the air
- ◇ violate = fail to respect (someone's peace, privacy, or rights)
- ℓ. 8 ◇ close[kló:ʊs] = with very little or no space in between ; only a short distance away or apart in space or time
 - ◇ tense = unable to relax because of nervousness, anxiety, or stimulation
 - ◇ hostile = showing or feeling opposition or dislike ; unfriendly
 - ◇ affect = have an effect on ; make a difference to
- ℓ. 9 ◇ nature = essence ; the inherent character or basic constitution of a thing
- ℓ. 10 ◇ discourse[dí:skɔ:z] = verbal interchange of ideas ; conversation
- ℓ. 11 ◇ maintain = continue ; preserve in ; carry on ; keep up
 - ◇ descent[dísént] = derivation from an ancestor ; birth ; lineage
- ℓ. 12 ◇ apparently = as far as one knows or can be ; it seems apparent
apparently を clearly の意味で用いるのは誤用であると言うのが、ニュージャージー州, ジョージア州, テキサス州, ミズーリ州, コネティカット州, ユタ州出身ののべ 10 人の米国人共通のコメント。
- ℓ. 13 ◇ retreat[rí:trí:t] = move back or withdraw
 - ◇ all the way (副詞句) 「ずっと」
- ℓ. 14 ◇ hall[hól:l] = a corridor or passage in a building
- ℓ. 15 ◇ say = let's say ; for example (used parenthetically to indicate that something is being suggested as possible or likely but not certain)
 - ◇ be willing to ... 「...するのをいとわない ; ...してもかまわない」
※ be eager to ... ほど積極的な気持ちではない。
- ℓ. 16 ◇ crowd up against us = move into our space ; violate our space < crowd = fill
(a space almost completely, leaving little or no room for movement)
- ℓ. 17 ◇ in the interests of getting someplace 「どこかに着くためには」
 - in the interests of = for the benefit or advantage of
 - someplace = somewhere
 - ◇ temporarily = not permanently
- ℓ. 18 ◇ shrink = become smaller in size or amount ; contract
 - ◇ about us 「自分の周りで ; 自分を中心にして」
 - ◇ proximity[prɔ:kسیمəti] = nearness in space, time, or relationship
- ℓ. 19 ◇ would ... 仮定法
 - 条件は such proximity in other situations
 - ◇ intolerable = that cannot be tolerated ; unable to be endured

0. 21 ◇ face to face 「面と向かって；(人と) 差し向かいで」

◇ it is well

||



○ well = sensible ; advisable

○ have + O + C 「OをCの状態にしておく」

【3】

A.

解答

- (a) (1) Jeans are often worn by young people.
(2) The heavy snow stopped all the trains.
(3) How long does it take you to fly from Paris to London?
- (b) (1) Urgent business kept me from attending the meeting.
(2) Microscopic examination reveals that such is not a fact.
(3) No amount of wealth can satisfy her.
- (c) (1) “Do you have a headache?”
“No, but I have a slight fever and a sore throat.”
(2) “It is hot.” “Hot is the word.”

解説

- (a) (1) 日本語の「はく」には、「状態」と「動作」を表す場合があるが、英語では、前者が wear, 後者が put on である。ただし、ここでは are が与えられているので受動態と判断し、Jeans are often worn by young people. とする。
(2) 「大雪」が the heavy snow, 「列車が全部」が all the trains. となるのは一目瞭然。そうすると、動詞が1つ欠けている。そこで、stop に「～を止める」の用法があることを思い出し、The heavy snow stopped all the trains とする。prevent, keep は単独では「止める」とはならないので不可。
(3) 「どのくらいかかりますか」は、与えられた語句の中に long があるので、「どのくらい時間がかかるか」を尋ねているのだとすぐわかる。How long does it take you to () from Paris to London? となる。
1語で「飛行機で行く」ことを表す動詞は fly しかない。
- (b) (1), (2), (3) とも無生物主語を用いた典型的な問題である。
(1) Urgent が与えられているので、「急用」は Urgent business となる。あとは、「急用が、私とその会合に出席するのを妨げた」と考えて、kept [stopped ;

prevented] me from …ing の形を用いればよい。

(2) microscopic は形容詞なので、「顕微鏡での検査は…ということを示す」と考えて、microscopic examination reveals that … と続ける。

「事実」には a fact がよい。

(3) “No amount” の amount の基本的な意味は、「量」である。したがって、「どれほどの量の富も、彼女を満足させることができない」と考えて、No amount of wealth で書き始める。

「満足させる」は、動詞 satisfy を用い、can satisfy her と続ける。

cf. No amount of money would buy it. (どんなに金を出しても、それは買えない。)

(c) (1) 「頭が痛い」は、have a headache, be suffering from a headache で表す。suffer from headaches とすると、「慢性的な頭痛持ち」という意味になってしまう。

「少し熱がある」は、have a slight fever, be a bit feverish とする。「のどが痛む」

は、have a sore throat. sore は「炎症を起こしてヒリヒリする」の意の形容詞。

(2) 「暑い」は It is hot. でよいが、「蒸し暑い」と表すなら、sultry, muggy などを用いてもよい。

「まったくだ」と相づちを打ちたい時には、You're right., It really is. などでもよいが、相手の言葉の一部をとって、Hot is right. や、Hot is the word. と言えば、ずばり表現できる。なお、この the word は「最も適切な(ぴったりの)言葉」の意。

B.

解答

(1) Why are you so afraid to go to the dentist? I'll go with you if you insist, but I really think you should try to go by yourself.

(2) Those students give me a bad headache. My experience tells me that those problem students do not get enough parental attention and love.

別解

(1) Are you really so scared of going to the dentist? I'll go along with you if you insist, but why not go by yourself once?

(2) Those students are a constant source of headache to me. According to my experience, the parents did not give those problem students enough parental guidance.

解説

(1) 「…するのがこわい」は、be afraid of …ing でも be afraid to …でもよいが、前者は「…することを恐れる」、後者は「こわくて…できない」という意味合いである。他に、be scared of …ing, be scared to …でもよい。

「歯医者に行く」は、go to the dentist. より具体的には、go to the dentist's office [clinic]. イギリス英語では、go to the dentist's も用いる。

「どうしてもと言うなら」は、if you insist が決まった言い方。

「ついて行く」は「一緒に行く」と考えて、go (along) with you でよい。

「行ってごらん」は、try を用いて、try …ing, try to … とする。前者は「…するこ

とを（実際に）試みる」, 後者は「…しようと努める」だが, この文脈ではいずれも可。「1人で」は, alone を用いると lonely という意味合いになってしまうので, independent に近い意味合いがある by yourself を用いる。

「一度」は, try を用いればその意味合いが出るので, 特に訳出しなくてもよいが, try を用いなければ once を入れておく。

- (2) 「頭痛の種」は a headache, a constant source of headache など。あるいは, 「心配の原因」と考えて a source of worry としてもよいが, やはりシンプルに a headache 1語で表すのがよい。

「あの生徒たちのことを考えると頭痛の種です」は, 「あの生徒たちは私にひどい頭痛を与える」と考えるのが英語の発想。

「私の経験では」は, according to my experience(s) としてもよいが, my experience tells me that …とする方がより自然。

「問題児」は, 「問題を起こす生徒」なら problem students, 「問題を抱えた生徒」ならば troubled students となる。

「両親の愛情が足りない」は「両親から十分愛情を与えられない」と考えて, not be given enough love and attention, not be given enough parental guidance のように表す。be given の代わりに get を用いてもよい。

【4】

解答

- (1) (We) found it wrong not to listen (to our opponents.)
(2) (The air conditioning in my hotel room went wrong, and) I asked the clerk to have it repaired(.)
(3) (His) performance left nothing to be desired(.)
(4) Will you be kind enough to (be here at nine o'clock?)

解説

- (1) ○ find it ~ not to … 「…しないのは～であると思う」
it は形式目的語で not to listen ~を受ける。
否定語は不定詞の直前に置くことに注意。
- (2) ○ ask A to … 「Aに…するように頼む」
名詞的用法の不定詞。
○ have A C 「AをCしてもらう」
cf. have O … 「O(人)に…してもらう」
We had him repair it. (彼にそれを修理してもらった。)
- (3) 形容詞用法の不定詞。
○ leave nothing to be desired 「望むべきことを何も残さない」
⇔ leave much to be desired 「遺憾な点を多く残す」
- (4) 「程度」を表す副詞用法の不定詞。
○ ~ enough to … 「…するほど～」

- cf.* You are kind enough to help me.
 = You are so kind as to help me.
 = You have the kindness to help me. ※形容詞用法。
 = It is kind of you to help me. ※「判断の根拠」を表す副詞用法。

【5】

解答

- (1) Tell her not to get [go] near the dog. **別解** Tell her to keep [stay] away from the dog.
 (2) Could you give me something to carry these apples [this apple] in?
 (3) Let me see you do it again.
 (4) Didn't you hear me say, "Stop"?
 (5) I never fail to write to my parents [family] every week.
 (6) I'll help you whenever you want me to.
 (7) We don't want there to be another war.
 (8) What else do you expect me to do?
 (9) He is brave [courageous] enough to do what he thinks is right.
 (10) How many times do you change trains to get to the college [university]?

解説

- (1) ○ tell A not to … 「Aに…しないように言う」
 not は不定詞の直前に置く。
 ○ keep [stay] away from ~ 「～に近づかない」
- (2) 形容詞用法の不定詞。
 前置詞 in を落とさないこと。
cf. This shirt has no pocket to put things *in*. (このシャツには物を入れるポケットがない。)
 ○ Could [Can ; Would ; Will] you …? 「…して下さいますか」
 依頼表現。Could ; Would の方が丁寧な言い方。
- (3) 原形不定詞の用法。
 ○ let (使役動詞) A C (原形不定詞) 「AにCさせる」
- (4) 原形不定詞の用法。
 ○ hear (知覚動詞) A C (原形不定詞) 「AがCするのを聞く」
- (5) ○ never fail to … 「必ず…する」
 二重否定表現。fail to … 「…しない」
- (6) ○ whenever … = every time… 「…する時はいつでも」
 you want me to の to は代不定詞の用法。繰り返しを防ぐための用法。
- (7) there が不定詞の意味上の主語として to be の前に置かれて用いられる。
 ○ want there to be ~ 「～があってほしい」
cf. there が動名詞の意味上の主語になる場合もある。

He was disappointed at *there being* so little to do.

(やることがあまりに少ないので彼はがっかりした。)

- (8) ○ else 「他に」
○ expect A to … 「Aが…することを期待する」
- (9) ○ ~ enough to … 「…するくらい～」
程度を表す副詞用法の不定詞。
○ what he thinks is right = the thing which he thinks is right < he thinks that the thing is right
- (10) ○ change trains 「電車を乗り換える」 ※相互複数
cf. make friends with ~ (～と友達になる)
○ to get は目的を表す副詞用法の不定詞。